

ほっこり ウィークリー

(毎週金曜日発行)

44号
2021
3.12

京都府立植物園

〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町
TEL 075-701-0141 FAX 075-701-0142
<http://www.pref.kyoto.jp/plant/>

園内で野鳥の死骸を発見されました。鳥インフルエンザの疑いもありますので絶対に触らずに職員や各門へお知らせください。



春の開園時間延長！3月27日(土)～5月16日(日)

開園時間を18:30まで延長します！(入園は18:00まで) ※本年は「桜のライトアップ」は行いません。

※ 京都府立植物園公式ツイッターアカウント始めました！見頃の植物情報を中心につぶやいています。



「第16回 早春の草花展」

～春を感じる風の中で～



2月13日(土)～3月14日(日) 10:00～16:00

大芝生地 特設会場にて・・・

～寒さの残るこの季節・・・

一足早く「春の景色」をお届けします！～

第34回 早春の山野草展

○期間：3月19日(金)～3月22日(月)

○場所：植物園会館1階展示室

○内容：早春に咲く山野草約250点を展示

◆3/21(日)山野草展関連 講習会

植物園会館前集合 13:30～14:15

「植物園職員による植物生態園ガイド」

講師：植物園職員

第60回 つばき展

○期間：3月26日(金)～3月28日(日)

○場所：植物園会館1階展示室

○内容：京都の名椿などツバキの切り枝を展示

◆3/27(土)園内つばき探訪

植物園会館前集合 13:00～13:45

「園内の椿案内」

案内：植物園職員

◆3/28(日)つばき展関連 講演会

植物園会館2階研修室 13:30～15:00

(当日受付 13:00～) ※定員：先着60名

「植物とあぶらの深くておいしい関係(仮題)」

講師：浅原貴美子氏(株式会社山中油店)

「水曜ミニガイド」 植物園認定が 仆がご案内！

※当面の間 水曜ミニガイドは中止させていただきます。

「副園長のほっこりガイド」

3月28日(日) 何処を歩くかはお楽しみ！

植物園会館前集合：午後2時スタート！

スマホdeガイド

QRコードをスマホで読み込み、「位置情報を利用する」に設定！

京都府立大学との共同により、スマホを使って園内の自分の位置が確認できる『スマホdeガイド』を作成！「おすすめ樹木めぐり」「おすすめエリアガイド」などをスマホで確認し、植物観察！

第29回 春蘭展

○期間：3月12日(金)～3月14日(日)

○場所：植物園会館1階展示室 (販売あり)

○内容：シュラン約100点及び席飾り5席を展示

第29回 球根ペゴニア展

○期間：3月27日(土)～4月11日(日)

○場所：観覧温室(ジャングル室)

○内容：球根ペゴニア約300鉢を展示

◆4/4(日)球根ペゴニア展関連 講習会

観覧温室(特別展示室) 13:30～

「園内における球根ペゴニアの栽培方法」

講師：植物園職員 ※定員：先着20名

第41回 京都盆栽展

○期間：4月2日(金)～4月5日(月)

○場所：植物園会館1階展示室

○内容：盆栽約30席、80点を展示(即売あり)



小菊盆栽作り講習会(全5回) 募集中！！

第1回：4/3(土) 13:30～14:30(受付13:00～)

★小菊を使った盆栽仕立ての実演指導 ★定員：先着30名

★参加費：1,000円(別途、入園料が必要)

★事前申込：往復ハガキに講習会名、住所、氏名、電話番号、栽培経験の有無を明記 ★〆切：3/28(日) ★会場：植物園会館2階研修室



「土曜ミニミニガイド」 技術課職員が植物解説！

毎週土曜日は・・・

植物園会館前集合：午後1時スタート！



「植物園ガイド」が植物案内！

～見どころ案内・魅力解説・楽しさ倍増！～

① 7名以上のグループや団体で来園される方を対象

② 申込は希望日の10日前までに。(要相談)

③ ガイドは1時間程度。(無料)

* 申込先：京都府立植物園 TEL 075-701-0141

植物園芸相談

■ 毎週 日曜日 午前9時～正午、午後1時～午後4時

■ 電話075-701-0141



※年間パスポート好評発売中

・1年間、何度でもご利用いただけるお得なチケットです！

大人1000円 高校生750円

・入園門でご購入いただけますので是非お買い求めください。

※温室観覧料は別途必要となります。

植物園HP！



⑫ マンゴー(花)

ウルシ科。北部インド～マレーシアに分布。インドでは4000年以上前から栽培されており、仏教の経典にもその名が見られる。花は総状花序。小さな花が房状で咲く状態になり、開花後に強烈な腐敗臭を放ち、受粉を助けるハエを誘う。

⑪ アセビ

ツツジ科。本州、四国、九州の山地に自生。葉や茎には、有毒成分が含まれているため、馬が食べると毒にあたって酔ったようにふらふらとした足取りになることから、漢名で「馬酔木」と書かれるようになったとされる。

⑩ ハナキリン

トウダイグサ科。マダガスカル原産。花は小さく、花びらに見える部分は苞。茎にはトゲがあり、イエス・キリストがかぶった「茨の冠」がこの植物だったとの伝説があることからキリスト・プラント(キリストの植物)という名前も付けられている。

⑨ クロッカス

アヤメ科。地中海沿岸から小アジアにかけて分布。香料や染料、薬品に用いられることで有名なサフランはクロッカスの仲間。早春を告げる花として人気が高く、早咲き系の種類は、寒さの残る2月中旬には開花が始まる。

① ミツマタ

ジンチョウゲ科。中国原産。下を向いて咲く花には芳香があり、小さな花が集まって半球形をつくっている。枝は3つに分枝し、これが名前の由来。強い繊維質の樹皮は、強度の高い良質な紙の原料として有名で、紙幣などにも使われている。

② ヘレボルス・オリエンタリス

キンポウゲ科。ギリシャやトルコなどに分布。日本では本種を含む全てのヘレボルス属を総称して「クリスマスローズ」と呼んでおり、その名称で知られている。欧米では冬に咲く「ヘレボルス・ニゲル」のみを「クリスマスローズ」と呼んでいる。

③ 雪割草

キンポウゲ科。雪解けとともに開花することが名前の由来。カタカナ表記の「ユキワリソウ」はサクラソウ科の別の植物を指す。花卉に見える部分はがく片で個体ごとに様々な色、模様があり、江戸時代から園芸植物として親しまれている。

④ ナルキッスス・キクラミネウス

ヒガンバナ科。スペインからポルトガルにかけて分布。長い副花冠と反り返る花弁が特徴。シクラメンにも似た風貌であることから、シクラメンズイセンの名で呼ばれることもある。種小名のcyclamineusは「シクラメンのような」という意味。

⑤ シクラメン・コウム

サクラソウ科。トルコの地中海沿岸などに分布。葉はハート形で小さく丸い。葉に入る銀白色の斑も多様で花とのコントラストも楽しめる春咲きの原種シクラメン。本種は耐暑性・耐寒性に優れ、丈夫で栽培しやすい。

⑥ ギンヨウアカシア

マメ科。オーストラリア南東部原産。黄色い房状の花を咲かせるアカシア属の総称で「ミモザ」とも呼ばれる。ミモザ(mimosa)は本来オジギソウ属を指すが、仲間のフサアカシアの葉がオジギソウに似ていたため誤って呼ばれるようになった。



写真はコチラ!

観覧温室



⑧ ヒヤシンス

クサスギカズラ科。ギリシャ～シリアなどに分布。名前はギリシャ神話の美青年ヒュアキントスに由来する。野生種の花は青紫色であるが、園芸品種は花色も豊富。球根の表皮が花色と同じような色なので、球根を見ると概ねその花色がわかる。

⑦ ボーモンティア・ムルティフロラ

キョウチクトウ科。インドなどヒマラヤに分布。常緑つる性の樹木。花をよく見ると五本の雄しべの先端が合わさり半開きの傘状をしており、それに雌しべの先端が包み込まれるユニークな構造をしている。夜に強く香り、媒介する蛾などを誘う。